

2025年7月 全国百貨店売上高概況

2025年8月25日

I. 概況

1. 売上高総額	4,683億円余
2. 前年同月比（増減率）	
（1）全 国	-6.2%（店舗数調整後／6か月連続マイナス）
①10都市（10地区）	-6.9%（6か月連続マイナス）
②10都市以外（7地区）	-3.4%（店舗数調整後／10か月連続マイナス）
（2）国 内	-1.8%（店舗数調整後／6か月連続マイナス）
（3）インバウンド（免税売上）	-36.3%（店舗数調整後／5か月連続マイナス）※

※インバウンド（免税売上）は、別紙「免税売上高・来店動向」参照

【特徴】

7月の売上高は6.2%減（6か月連続）、入店客数1.7%減（8か月連続）と共に前年実績を下回った。前年、調査開始以来3番目に高い値を記録した免税売上（633億円）の高伸反動が大きく影響した。また、全国的に記録的な猛暑が続き、主要顧客層の入店客数減等マイナス要因も見られたが、夏物衣料や服飾雑貨等の盛夏商材が好調に推移し、前月より売上高は1.6ポイント、入店客数は0.3ポイント改善した。

インバウンド（免税売上）：7月の為替相場は多少円安に振れたものの、前年高伸反動から売上高403億円（36.3%減/シェア8.6%）と5か月連続マイナス。購買客数は47万人（16.7%減）で3か月連続マイナス。先月に続き、香港、韓国の購買客数の減少幅が大きいが、中国、台湾は徐々に回復傾向。

国内市場：7月は1.8%減（シェア91.4%/6か月連続）と先月より1.0ポイント改善。10都市1.3%減、地方（10都市以外の7地区）3.2%減と共に先月よりマイナス幅は縮小。札幌、名古屋、大阪、東北の4地区プラス。

都市（10都市）：全地区マイナス。福岡、東京は二桁減。前年伸長した高額品の不調から身のまわり品17.6%減。夏休みの帰省やインバウンドの土産需要増等で、菓子は0.2%増。

地方（10都市以外の7地区）：東北を除く6地区マイナス。東北は一部店舗の閉店セールが活況だったこと等もあり、プラス転換。

商品別：主要5品目全て前年実績を下回った。昨年好調だったラグジュアリーブランドを含む身のまわり品が16.1%減と4か月連続二桁減。クリアランスは規模、売上共に減少傾向。晴天、高気温により日傘、帽子、サンダル等夏物商材のほか、化粧品ではUV対策アイテムも好調。中元商戦は自家需要堅調も、全体では微減。夏休み催事はアニメ等のポップカルチャーや体験型等、各社趣向を凝らした展開で集客、売上に寄与。

【要因・その他】

(1) **天 候**：気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇太平洋高気圧が本州付近に張り出し、梅雨前線の活動が弱かったため、北・東・西日本では晴れて気温が高い日が多く、1946年の統計開始以降、それぞれ7月として1位の高温となった。降水量は北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本太平洋側では少なかった。日照時間は東・西日本日本海側では、7月として1位の多照。

(2) **営業日数増減** 31.0日（前年同月比 ±0.0日）

(3) **土・日・祝日の合計** 9日（ " ±0.0日）

(4) **入店客数増減**（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数100店舗）

①増加した：41店、②変化なし：25店、③減少した：34店

(5) **調査対象百貨店** 70社 178店（本年6月対比：±0店）（前年同月比：-1社+1店）

(6) **総店舗面積** 4,482,071㎡（前年同月比：-1.9%）

全国百貨店 売上高速報 2025年7月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	468,331,459	100.0	-6.2 (-6.6)
10都市	365,106,347	78.0	-6.9
札幌	13,144,199	2.8	-6.6
仙台	6,344,517	1.4	-3.9
東京	136,579,091	29.2	-10.0
横浜	28,294,932	6.0	-3.4
名古屋	35,182,638	7.5	-1.1
京都	20,914,896	4.5	-9.6
大阪	83,968,678	17.9	-4.1
神戸	13,223,769	2.8	-1.9
広島	7,146,443	1.5	-7.4
福岡	20,307,184	4.3	-11.5
10都市以外の地区	103,225,112	22.0	-3.4 (-5.3)
東北	3,929,063	0.8	0.7
関東	45,517,691	9.7	-3.9
中部	5,990,594	1.3	-5.3 (-29.1)
近畿	16,337,011	3.5	-1.3
中国	7,828,220	1.7	-5.1
四国	5,838,919	1.2	-2.2
九州	17,783,614	3.8	-4.0

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	468,331,459	100.0	-6.2 (-6.6)
紳士服・洋品	21,162,577	4.5	-8.4 (-8.9)
婦人服・洋品	82,060,832	17.5	-6.1 (-6.6)
子供服・洋品	5,509,445	1.2	-3.8 (-4.5)
その他衣料品	6,292,847	1.3	-11.0 (-11.4)
衣 料 品	115,025,701	24.6	-6.7 (-7.2)
身のまわり品	75,850,762	16.2	-16.1 (-16.4)
化粧品	38,691,033	8.3	-3.2 (-3.5)
美術・宝飾・貴金属	49,464,929	10.6	-3.6 (-4.0)
その他雑貨	13,067,048	2.8	2.4 (2.1)
雑 貨	101,223,010	21.6	-2.8 (-3.1)
家具	4,172,533	0.9	-5.8 (-6.4)
家電	1,509,523	0.3	15.4 (14.9)
その他家庭用品	9,875,528	2.1	-4.2 (-6.0)
家 庭 用 品	15,557,584	3.3	-3.1 (-4.4)
生 鮮 食 品	21,578,831	4.6	-4.6 (-5.0)
菓 子	39,699,704	8.5	-0.4 (-0.9)
惣 菜	27,755,016	5.9	-1.9 (-2.3)
その他食料品	42,804,316	9.1	-3.4 (-3.8)
食 料 品	131,837,867	28.2	-2.4 (-2.8)
食 堂 喫 茶	11,361,507	2.4	-2.4 (-2.8)
サ ー ビ ス	3,692,537	0.8	-19.6 (-19.6)
そ の 他	13,782,491	2.9	-0.8 (-0.9)
商 品 券	9,515,546	2.0	-10.1 (-10.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

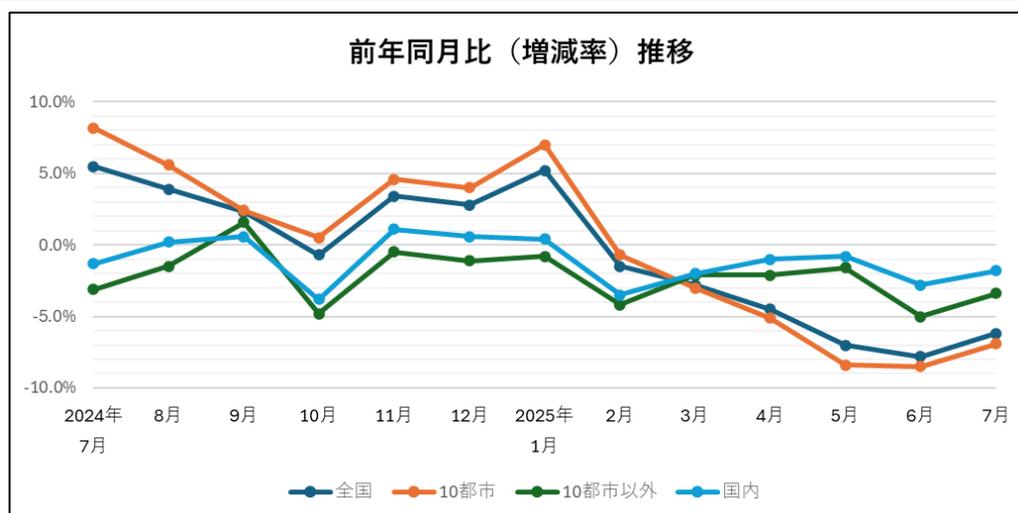
地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	-6.9	-5.4	6か月連続マイナス
札幌	-6.6	-0.2	4か月連続マイナス
仙台	-3.9	-0.1	2か月連続マイナス
東京	-10.0	-3.0	6か月連続マイナス
横浜	-3.4	-0.2	6か月連続マイナス
名古屋	-1.1	-0.1	3か月連続マイナス
京都	-9.6	-0.4	6か月連続マイナス
大阪	-4.1	-0.7	5か月連続マイナス
神戸	-1.9	-0.1	3か月連続マイナス
広島	-7.4	-0.1	23か月連続マイナス
福岡	-11.5	-0.5	6か月連続マイナス
10都市以外の地区	-3.4	-0.7	10か月連続マイナス
東北	0.7	0.0	2か月ぶりプラス*
関東	-3.9	-0.4	10か月連続マイナス
中部	-5.3	-0.1	6か月連続マイナス
近畿	-1.3	-0.0	2か月連続マイナス
中国	-5.1	-0.1	13か月連続マイナス*
四国	-2.2	-0.0	3か月連続マイナス
九州	-4.0	-0.1	10か月連続マイナス

(注1) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

(注2) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算した。

【前年同月比(増減率)推移】

	2024年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 国	5.5	3.9	2.3	-0.7	3.4	2.8	5.2	-1.5	-2.8	-4.5	-7.0	-7.8	-6.2
10 都 市	8.2	5.6	2.4	0.5	4.6	4.0	7.0	-0.7	-3.0	-5.1	-8.4	-8.5	-6.9
10 都 市 以 外	-3.1	-1.5	1.6	-4.8	-0.5	-1.1	-0.8	-4.2	-2.1	-2.1	-1.6	-5.0	-3.4
国 内	-1.3	0.2	0.6	-3.8	1.1	0.6	0.4	-3.5	-2.0	-1.0	-0.8	-2.8	-1.8



Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は全てマイナスとなった。
 その他の品目はその他雑貨が3か月連続、家電が8か月連続でプラスとなったが、化粧品が2か月連続、美術・宝飾・貴金属が6か月連続、菓子が4か月ぶりにマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	-6.2	-	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-8.4	-0.4	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.1	-1.1	6か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.8	-0.0	6か月連続マイナス
その他衣料品	-11.0	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-6.7	-1.7	6か月連続マイナス
身のまわり品	-16.1	-2.9	6か月連続マイナス
化粧品	-3.2	-0.3	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-3.6	-0.4	6か月連続マイナス*
その他雑貨	2.4	0.1	3か月連続プラス*
雑貨	-2.8	-0.6	5か月連続マイナス
家具	-5.8	-0.1	4か月連続マイナス
家電	15.4	0.0	8か月連続プラス
その他家庭用品	-4.2	-0.1	4か月連続マイナス
家庭用品	-3.1	-0.1	4か月連続マイナス
生鮮食品	-4.6	-0.2	16か月連続マイナス*
菓子	-0.4	-0.0	4か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.9	-0.1	2か月連続マイナス*
その他食料品	-3.4	-0.3	2か月連続マイナス*
食料品	-2.4	-0.7	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.4	-0.1	13か月連続マイナス
サービス	-19.6	-0.2	2か月連続マイナス
その他	-0.8	-0.0	2か月ぶりマイナス
商品券	-10.1	-0.2	17か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>